| | |
|---|---|
| 学位被授与者氏名 | 草刈　麗奈（くさかり　れいな） |
| 論文題目 | 『夷堅志』の怪奇談とその性差 |
| 論文審査結果の要旨 | 1000 弱の話すべてに目を通し、その中から「鬼」に関する話 200 話を研究対象とした点が高く評価できる。また統計的なデータを分析して得られた結果について、その原因を話の内容から探っているが、考察が丁寧で論理的で説得力がある。この点筆者は「[量的研究]を通し導き出された数値の差から[内容的研究]を行う取組みは実験的であった」と述べているが、本研究においてはその方法は成功していると言えると思われる。論文の末尾には鬼に関する 200 話の話について男女の別、登場する人間の身分、鬼の生前の身分、あらすじなどがまとめられた一覧表が掲載されているが、これは資料的な価値が高いといえる。<br>このように高く評価できる一方で、以下の点に注意すればより完成度の高い論文となったと思われる。(1)筆者は宋代の女性に興味があり、そこが本研究の出発点となっているが、女性への興味ということと『夷堅志』を研究することとがもう少し関連付けられていると良かった。(2)鬼の話を取り上げるのに、単に数が多いからというのではなく、男女の差が多く現れている点を強調したほうが良かった。(3)話の総数が論文内で一致していない。(4) わずかではあるが誤字・脱字が見られる。<br>2025 年 2 月 21 日に、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 3-329 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。 |